

企画セッション

(要聴講参加登録/参加費不要)

※ハンズオンセッション等、事前のお申込をお勧めするものがあります

◆シンポジウム

【2021年度初等中等教育におけるGISを活用した授業に係る
優良事例表彰】

10月30日(土) 8:30-10:30

企画：中谷友樹(教育委員会)

2021年度に実施された、初等中等教育においてGISを活用した授業のうち、優良事例について表彰し、その内容を発表する。

◆ワークショップ

【今後のDXにつながる自治体GISの最新の取組み】

10月30日(土) 8:30-10:30

企画：青木和人(自治体分科会)

現在、自治体DX推進計画の策定が求められています。

これまでのICTやAIはどちらかというとな業務の効率化や簡素化に重点において導入されてきたところであるが、スウェーデンのウメオ大学のエリック・ストルターマン教授が提唱したDXはこれまでのICT等による効率化を踏まえて、組織の仕組みそのものをさらに改善しようとしようとするものです。ここで必要なのは、職員の一人ひとりが庁内外にあるデータを活用し、考え、実行することが求められます。これまで技術に頼るという考えから、技術を使う職員が求められるようになっていきます。

そこで、本セッションでは、自治体DXについて整理した上で、話題提供者から自治体GISの最新の取組み事例を紹介いただきます。その後、参加者によるディスカッションを行い、今後のDXにつながる自治体GISの活用方法について、参加型で議論

を深め検討します。

◆シンポジウム

【30周年記念セッション】

10月30日（土）10:50－12:20

司会：山本佳世子（事務局長）

当学会は1991年11月30日に設立されました。30周年を迎えるに当たり、第4代会長の岡部篤行氏、第8代会長の村山祐司氏から、まずご講演いただきます。さらに、お二人のご講演を受けて、現会長の大佛俊泰氏からもご講演いただきます。

◆シンポジウム

【「地理総合」に向けたGIS教育オンラインプラットフォーム】

(1) 10月30日（土）13:50－15:50

(2) 10月30日（土）16:10－18:10

企画：中谷友樹（教育委員会）

高校における「地理総合」必修化を来年度に控え、その柱の1つに位置付けられているGIS教育のオンライン上のプラットフォームには様々なものが存在している。では、何をどのように活用すべきだろうか。本シンポジウムでは、地理情報関連企業および政府機関が提供するGIS教育オンラインプラットフォームについて、それぞれの開発者や活用実践例を提案している立場から紹介してもらい、現場での有用性、さらなる可能性、ならびに解決すべき諸課題を、パネリストとの質疑を通して深めていきたい。

【学生フリーテーマ発表会2021】

(1) 10月30日（土）18:30－20:00

(2) 10月31日（日）16:00－18:00

企画：相尚寿（若手分科会）

若手分科会では、研究発表大会が学生のみなさんにとっても成果発表の場および研究交流の場になってほしいと考え、本年度も「学生フリーテーマ発表会」を企画します。本年度は2セ

セッションとし、成果発表セッションと交流セッションに分けます。

(1) 成果発表セッションは一定の研究成果が出ている学生さんを対象に、通常の口頭発表セッションに近い形で運営します。優秀な研究発表と将来性のある研究テーマについて、それぞれ分科会として表彰する予定です。

(2) 交流セッションは構想段階での研究発表、講義やゼミなどでの取り組みを紹介することを重視し、発表時間よりも質疑応答や意見交換の時間を長くとります。いずれも学生さんであれば学年や分野を問わず発表できます。他大学、他分野の学生さんと交流する機会としてぜひ発表をご検討ください。発表募集など詳しくは若手分科会のサイトでご案内しています。

<https://sites.google.com/view/gisa-wakate/>

◆ワークショップ

【FOSS4Gを使って3D空間データを扱ってみよう】

(1) 10月31日(日) 8:30-10:10

(2) 10月31日(日) 10:30-12:10

企画：岩崎亘典（FOSS4G分科会）

近年、国土交通省による日本全国の3D都市モデルの整備・オープンデータ化プロジェクトである「PLATEAU」や、静岡県によるバーチャル静岡のLiDAR点群データなど、多くの3次元空間情報がオープンデータとして公開されている。今後、これらのデータを活用した研究が進展することが期待される。本ワークショップでは、FOSS4Gを用いたこれらのデータの表示、処理の方法について利用者間での情報共有を進めることを目的として、開催する。なお、申し込み方法等の詳細についてはFOSS4G分科会のWebページにて後日公開する。

<https://sites.google.com/site/foss4gsig/>

◆シンポジウム

【第16回マイクロジオデータ研究会「マイクロジオデータ研究会10年間の歩みとこれからのマイクロジオデータ研究の方向性

について」】

(1) 10月31日(日) 13:40-15:40

(2) 10月31日(日) 16:00-18:00

企画：秋山祐樹

2011年に発足した本研究会は、マイクロジオデータ(MGD:位置情報や時間情報を持つ時空間的に高精細なデータや統計の総称)の普及と利活用について産官学の有識者を中心に議論を行って来ました。MGDは既存の各種統計・空間データでは実現し得なかった、時空間的にきめ細やかな分析や計画支援等への利活用が期待されています。

研究会発足から10周年を迎えた今回のMGD研究会では、これまでの研究会の歩みを振り返るとともに、これからのMGDを活用した研究の方向性について、また研究会そのもののあり方や期待される役割などについて、産官学の有識者からのMGDを活用した研究・事例の紹介も交えつつ議論を深めたいと考えています。

研究会の詳細・参加申し込み等については以下からお願いいたします。

<http://microgeodata.jp/contents/mgd16.html>

◆ハンズオン【クラウドGIS体験】

10月31日(日) 13:40-15:40

企画：土田雅代(ESRIジャパン株式会社)

インターネットの接続環境があれば、どこでも、どの端末でも利用できるクラウドGISであるArcGIS Onlineを使って、Webマップの作成、ArcGIS Online Appsなどを体験して頂きます。

参加希望の方は以下にお申込みの上、当日はインターネット接続可能なPCおよびタブレットのどちらかをご用意ください。

お申込み先：土田 masayo_tsuchida@esrij.com

◆ハンズオン【ArcGIS API for Python体験】

10月31日(日) 16:00-18:00

企画：土田雅代(ESRIジャパン株式会社)

Pythonをブラウザ上でインタラクティブ(対話的)に実行で

きるツールである Jupyter Notebook を利用して Web マップと地理空間データを扱うための Python ベースの API を体験していただきます。

参加希望の方は以下にお申込みの上、当日はインターネット接続可能な PC およびタブレットのどちらかをご用意ください。
動作環境

<https://www.esri.com/products/arcgis-api-for-python/environments/>

お申込み先：土田 masayo_tsuchida@esri.com

◆ 閉会式

10月31日（日）18:10－18:30

今年度の地理情報システム学会賞の授与および第17回大会優秀発表賞、第10回ポスターセッション賞、学生フリーテーマ発表会の優秀者の発表があります。来年度の大会についてのご案内も予定しております。